

2012年7月吉日

会員各位

東北大学大学院医学系研究科循環器内科学
下川 宏明
熊本大学大学院医学薬学研究部循環器内科学
小川 久雄

「冠攣縮研究会 国際ミーティング in ミュンヘン」開催のご案内

拝啓

向暑の候、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素、冠攣縮研究会前向き観察研究に多くの症例をご登録いただき誠にありがとうございます。現在、前向き観察研究は日本全国78施設、海外5施設にご参加をいただき、おかげさまで登録症例は順調に増加しております。

さて、8月25日～8月29日にドイツミュンヘンでヨーロッパ心臓病学会学術集会が開催されます。今回、学会期間中に、前向き観察研究にご参加いただいている海外施設から先生方をお招きし、「冠攣縮研究会国際ミーティング」を開催いたします。冠攣縮に造詣が深く世界的にトップレベルの臨床研究を行っている海外の先生方との交流を深め、情報交換を行う絶好の機会になると思います。冠攣縮研究会会員の先生方でESC2012にご参加予定の先生方はぜひご出席ください。一施設から複数名のご出席も歓迎いたします。

冠攣縮研究会 国際ミーティング in ミュンヘン

日時：2012年8月27日(月)午後7時—午後9時

場所：Maritim Hotel München

<http://www.maritim.com/en/hotels/germany/hotel-muenchen>

参加費：無料

海外参加者：Attilio Maseri 教授 (Heart Care Foudation, Italy)

Paolo Camici 教授 (Vita-Salute San Raffaele University, Italy)

Filippo Crea 教授 (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)

Juan Carlos Kaski 教授 (St George's University, UK)

バイエルン料理とドイツワインを楽しみながら、国際前向き登録研究の現状を確認し、今後の課題や明らかにすべき問題について皆で議論したいと思います。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、8月3日(金)までに ご返事いただけましたら幸いです。末筆ながら、先生の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

返信 FAX 用紙
(FAX: 022-717-7156)

事務局:東北大学循環器内科学 高橋 潤 行
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
(Tel) 022-717-7153
e-mail:vsa@cardio.med.tohoku.ac.jp

冠攣縮研究会 国際ミーティング in ミュンヘン
2012年8月27日(月)

参加します ・ 参加できません

(8月3日までにご返信をお願い致します)

ご施設名: _____

ご氏名: _____
(複数名のご出席も歓迎いたします)

ご住所: _____

TEL: _____

FAX: _____

e-mail _____

* ご返信頂き、ありがとうございました。

・Maritim ホテルミュンヘンの地図

